総合特別区域評価・調査検討会における評価結果の概要

令和4年度

2. 分野別状況（1）国際戦略総合特区

	総合評価（ⅠとⅡとⅢを1:1:2の割合で計算）	Ⅰ 目標に向けた取組の進捗	Ⅱ 支援措置の活用と地域独自の取組の状況	Ⅲ 取組全体にわたる事業の進捗と政策課題の解決	総合評価に係る専門家所見（主なもの）
アジアNo.1航空宇宙産業クラスター形成特区 （愛知県、岐阜県、三重県、長野県、静岡県、名古屋市　等）	3.5	2.7 進捗度 ・中部地域における航空宇宙関連輸出額 44% ・中部地域における航空宇宙関連の工場等の新増設件数 200% 等	3.8 規制の特例等 ・工場等新増設促進事業 等 財政支援等 ・総合特区設備等投資促進税制 ・総合特区支援利子補給金 等 地域独自の取組 ・21世紀高度先端産業立地補助金 等	3.7	・全体の進捗はCOVID-19の影響もあったかと考えられるが、それ以外は順調と思われる。 ・足元の回復策とあわせて、今後は、DX活用、脱炭素などポストコロナの環境変化を踏まえ、新たな持続成長の足がかりとなるような取組にも期待したい。 ・厳しい状況の中で一定の成果はあげられていると思われるが、同時に今後のアクティビティ改善にも期待したい。